

平成25年9月26日
国土交通省
能代河川国道事務所

平成25年9月 台風18号に伴う出水概要 《治水事業等効果（速報版）》

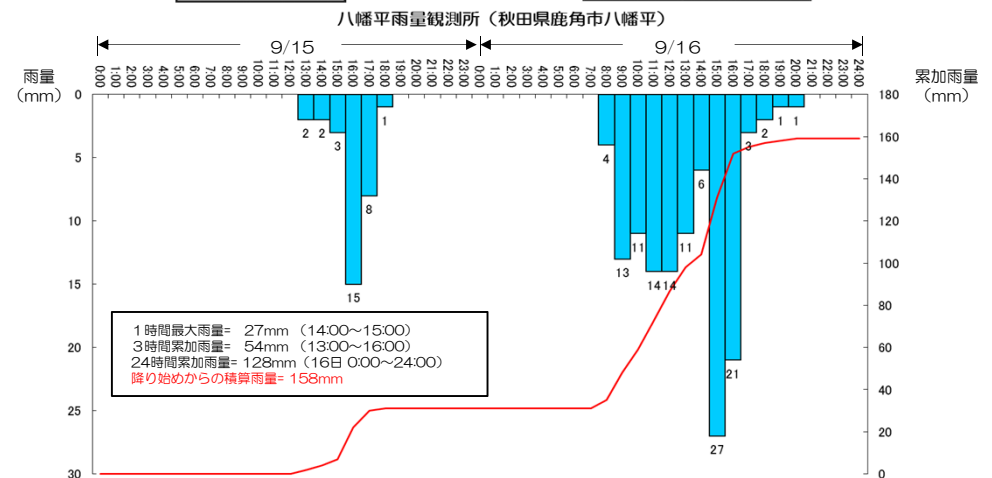
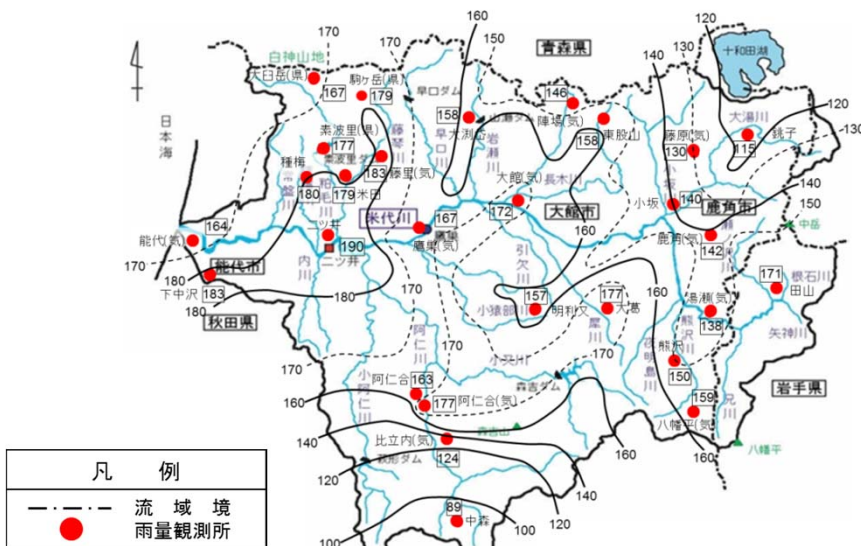
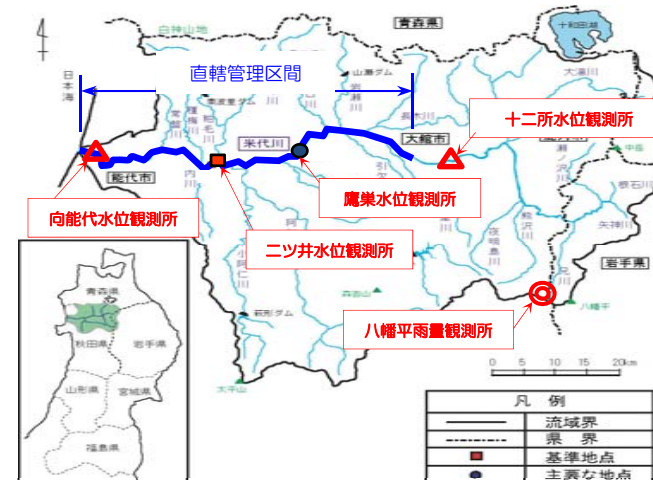
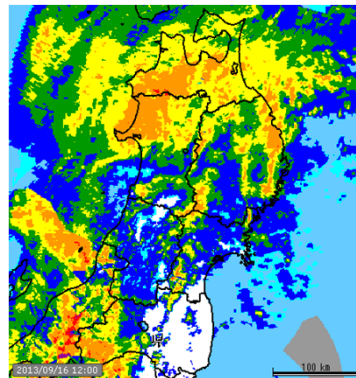
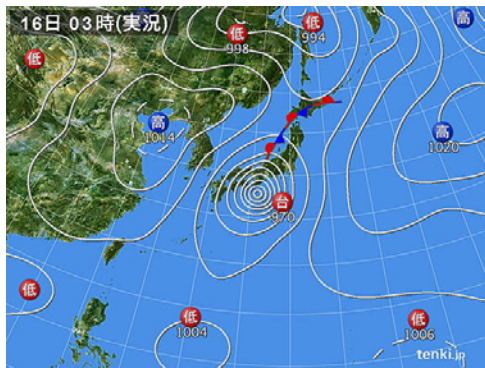
《ポイント》

- 十二所^{じゅうにしよ}水位観測所では平成19年に次ぐ観測史上2番目の水位を記録
- 米代川の河川整備（復緊事業）により、二ツ井^{ふたつい}観測所地点では約85cm水位低減させ、はん濫危険水位超過を回避
- 森吉山^{もりよしざん}ダムの整備効果により、北秋田市^{きたあきたし}阿仁前田^{あにまえだ}地点で約83cm水位低減させ、避難判断水位超過を回避

速報版に付き、今後情報が変更となる可能性があります。

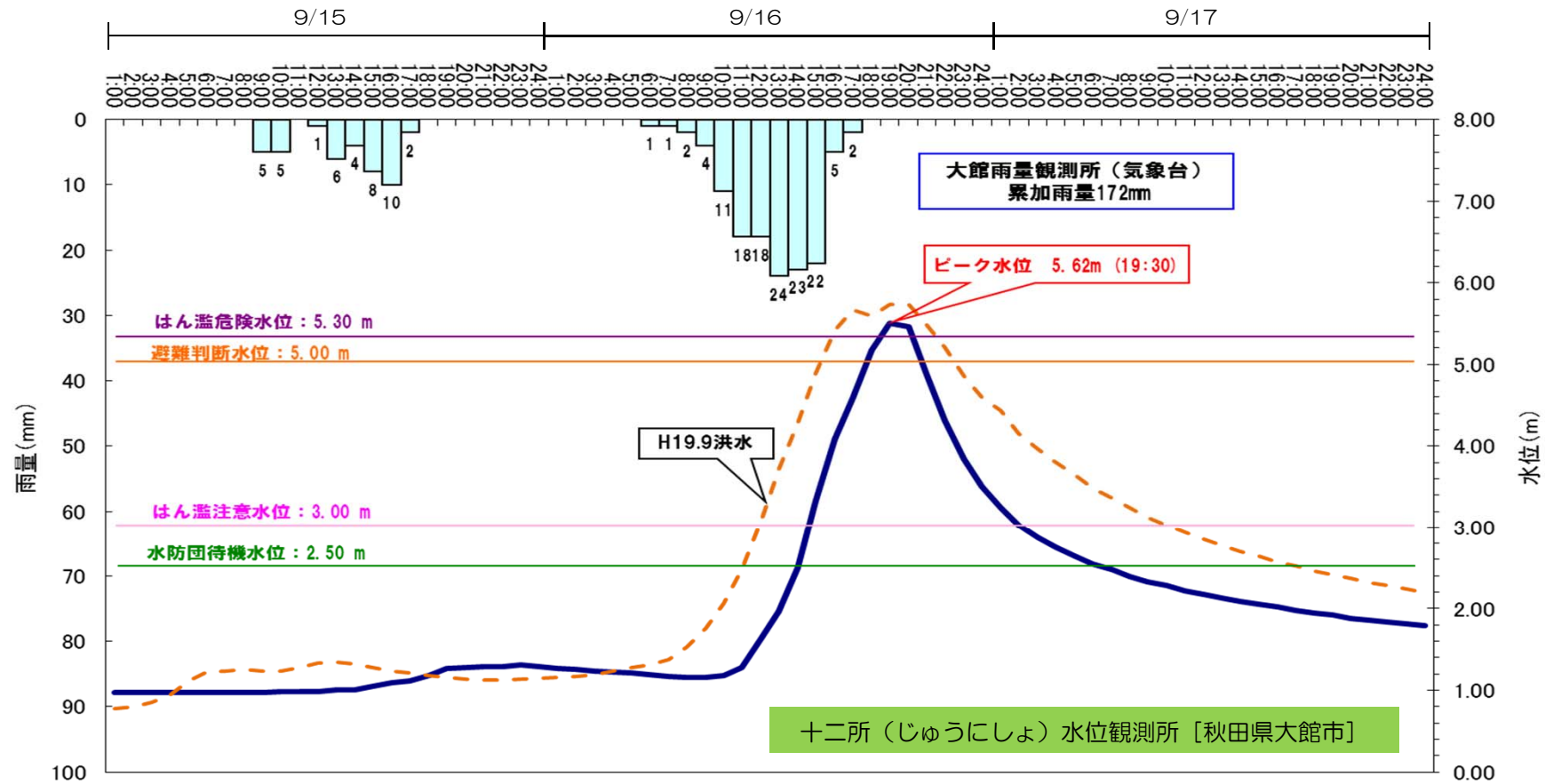
平成25年9月16日 台風18号による出水概要（米代川）

- 15日に日本の南の海上を北上した台風18号は、16日朝に愛知県に上陸。速度を上げながら北東へ進み、16日21時頃に釧路沖の海上で温帯低気圧へと変わった。
- 秋田県では、北海道から山陰に停滞する前線の影響により、15日朝から16日朝にかけて雨となった。また、16日昼前から夕方にかけては、**台風の接近に伴って再び激しい雨が降り大雨となった。**
- 降り始め（15日6時）から16日24時までの総雨量は、^{ふじさとまち}藤里町で183ミリ、^{きたあきたしわきがみ}北秋田市脇神と^{きたあきたしあにあい}北秋田市阿仁合で178ミリ。また、^{かつのしはちまんたい}鹿角市八幡平では、16日の日最大1時間雨量が42ミリ（おおよそ14:30~15:30の間）と、**観測史上1番目の雨量**を記録している。
- この降雨により米代川の^{じゅうにしよ}十二所水位観測所（大館市）では、水位が5.62mと先月8月の豪雨災害をさらに上回る**観測史上2番目の水位**を記録する出水となった。【既往最高水位：十二所観測所 5.73m [H19.9月]】



平成25年9月16日 台風18号による出水概要【観測所データ】

十二所（じゅうにしよ）水位観測所では観測史上2番目の水位を記録！

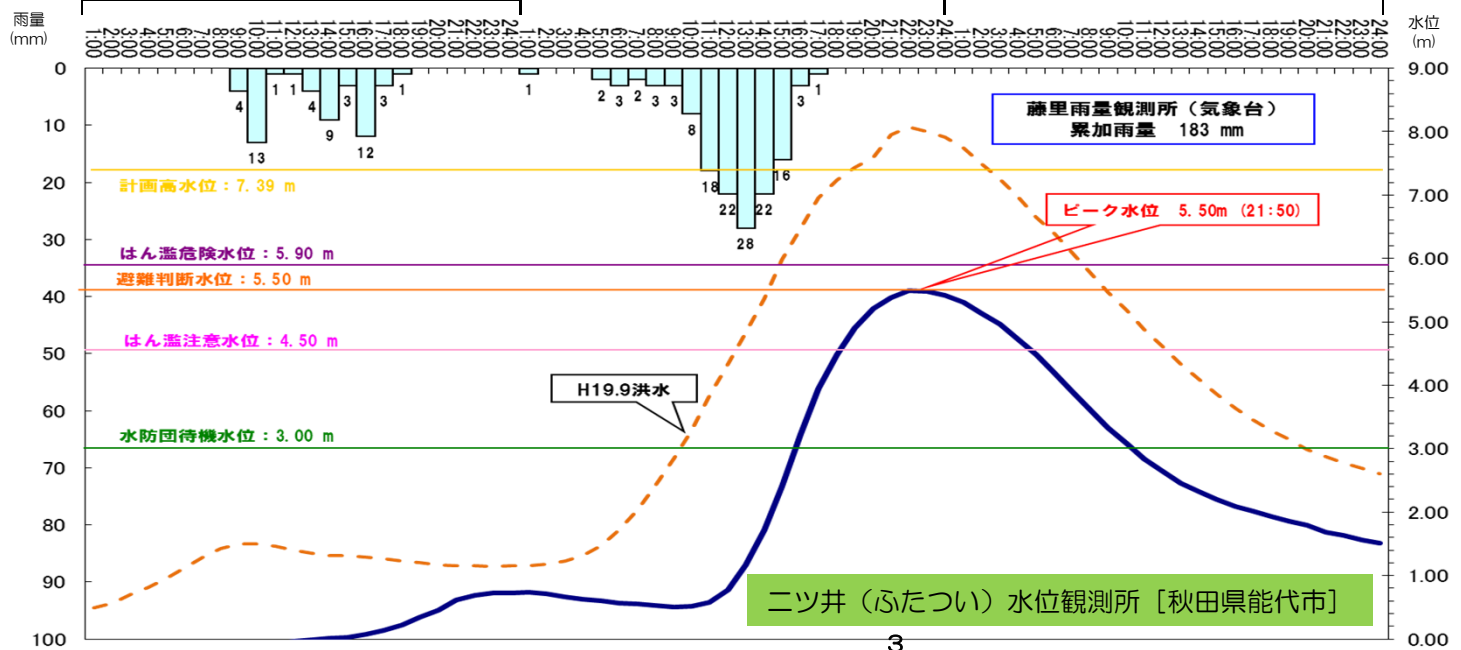
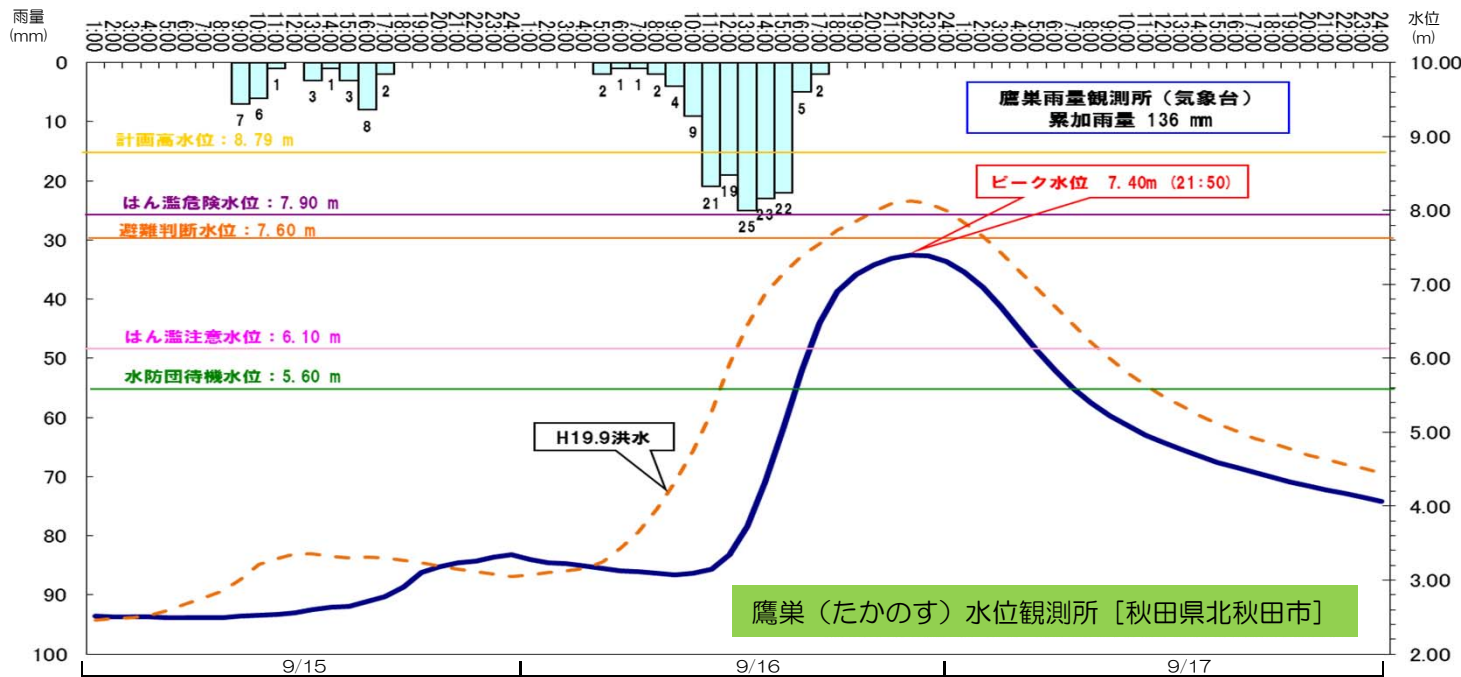


【十二所水位観測所における過去の最高水位】

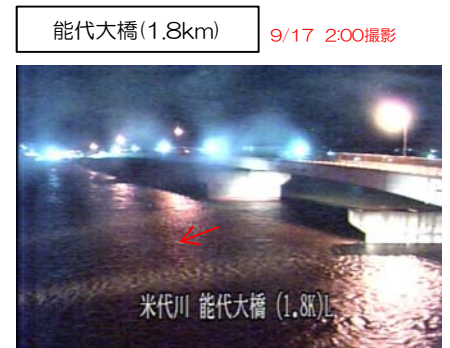
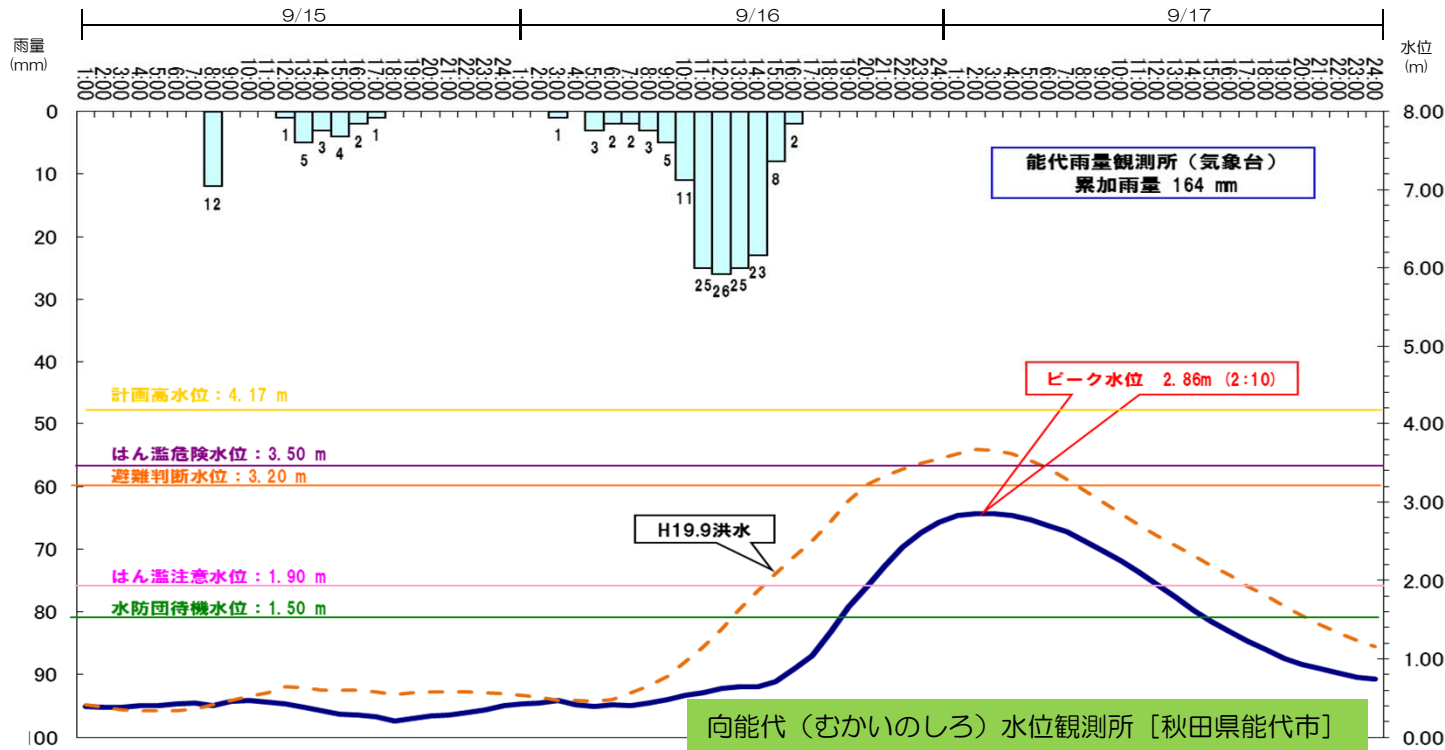
No.	発生年	出水要因	最高水位
1	平成19年9月洪水	前線性豪雨	5.73m
2	平成25年9月洪水	台風18号	5.62m
3	平成25年8月洪水	前線性豪雨	5.60m
4	昭和50年4月洪水	前線性豪雨	5.10m
5	昭和26年7月洪水	台風15号	4.62m



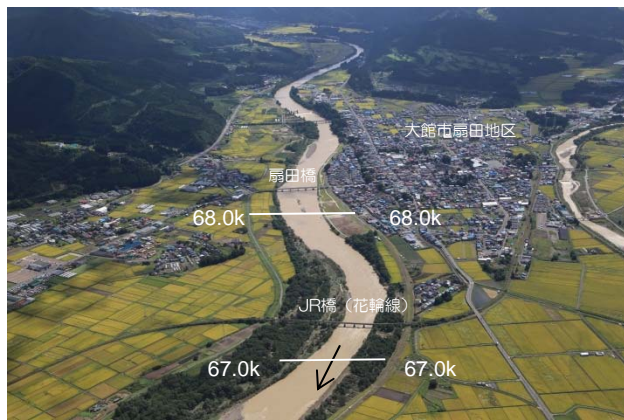
平成25年9月16日 台風18号による出水概要【観測所データ】



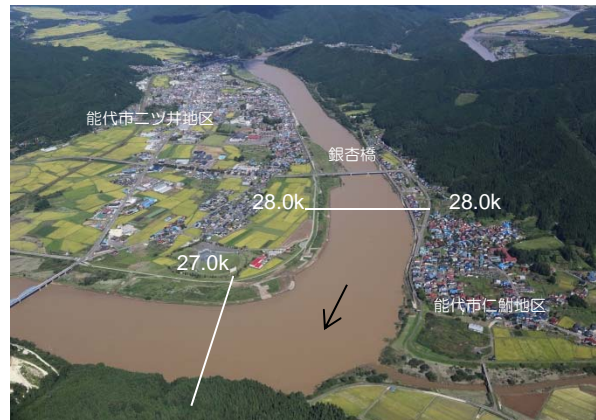
平成25年9月16日 台風18号による出水概要【観測所データ】



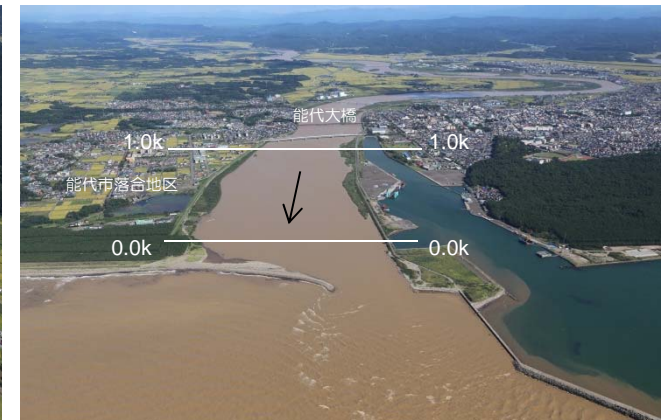
参考：出水直後の状況（17日AM撮影）



米代川 (68.0km付近: 大館市扇田地区)



米代川 (27.0km付近: 能代市二ツ井・仁鮎地区)



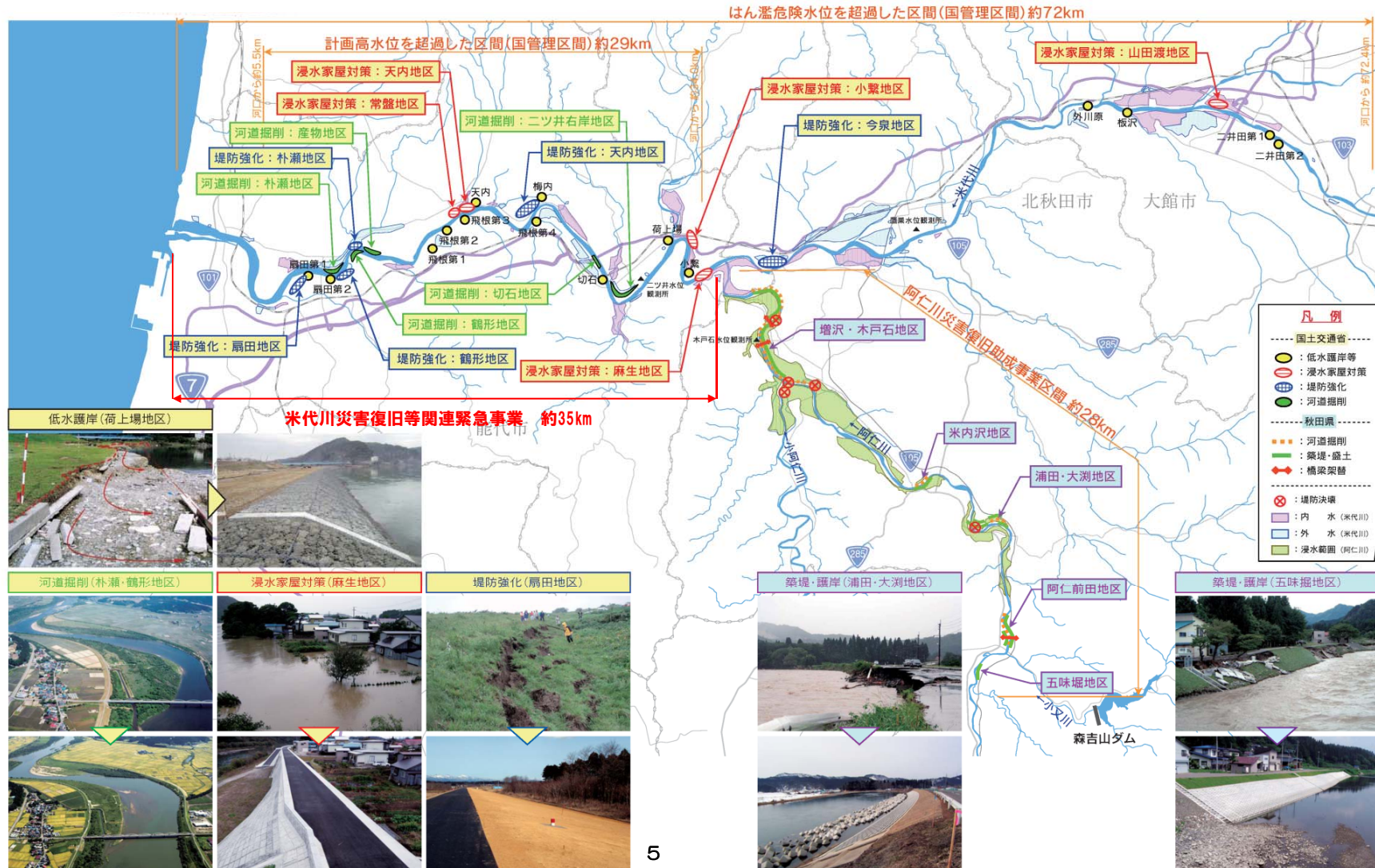
米代川 (河口付近: 能代市落合地区)

米代川の河川整備について【平成19年出水以降の整備】

米代川では平成19年9月に出水において、基準観測所である十二所（大館市）、鷹巣（北秋田市）、二ツ井（能代市）、向能代（能代市）の各水位観測所でははん濫危険水位を超え、なかでも二ツ井水位観測所では、計画高水位を超える出水となり、既往最高となる8.07mを記録しています。

能代河川国道事務所では平成19年の災害を受け、平成23年度までに家屋浸水対策や河道整備（河道掘削・樹木伐採）、堤防強化といった「災害復旧等関連緊急事業」を進め、その後も阿仁川合流点より下流においては、河道掘削を実施しているところであります。

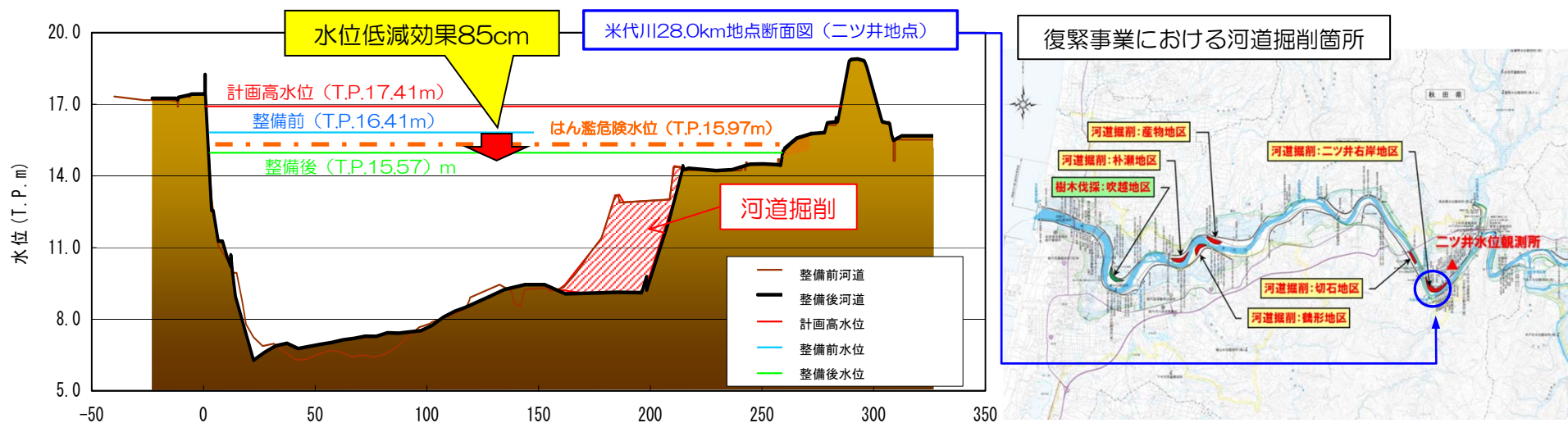
平成19年出水の被災箇所と整備内容



平成25年9月出水（台風18号）における河川整備効果について【河道掘削・樹木伐採】

米代川の河川整備（復緊事業）により、^{ふたつ}ニツ井水位観測所で約85cm水位低減させ、はん濫危険水位超過を回避！

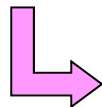
米代川では下流から順次、河川整備（河道掘削・樹木伐採）を進めているところであります。今回の出水（H25.9.16）ではニツ井水位観測所のピーク水位が5.50m（T.P.=15.57m）であり、この時の流量は4,320m³/sとなります。この流量が平成19年当時（復緊事業前）の河道を流下した場合、ピーク水位は6.34m（T.P.=16.41m）になったと推定されます。すなわち、平成19年度以降の整備効果により約85cmの水位低減効果が図られ、ニツ井水位観測所地点のはん濫危険水位5.90m（T.P.=15.97m）超過を抑えることができたものと推定されます。



●河道掘削の事例（朴瀬地区・鶴形地区）



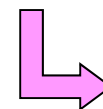
河道掘削前



●樹木伐採の事例（吹越地区）



樹木伐採前

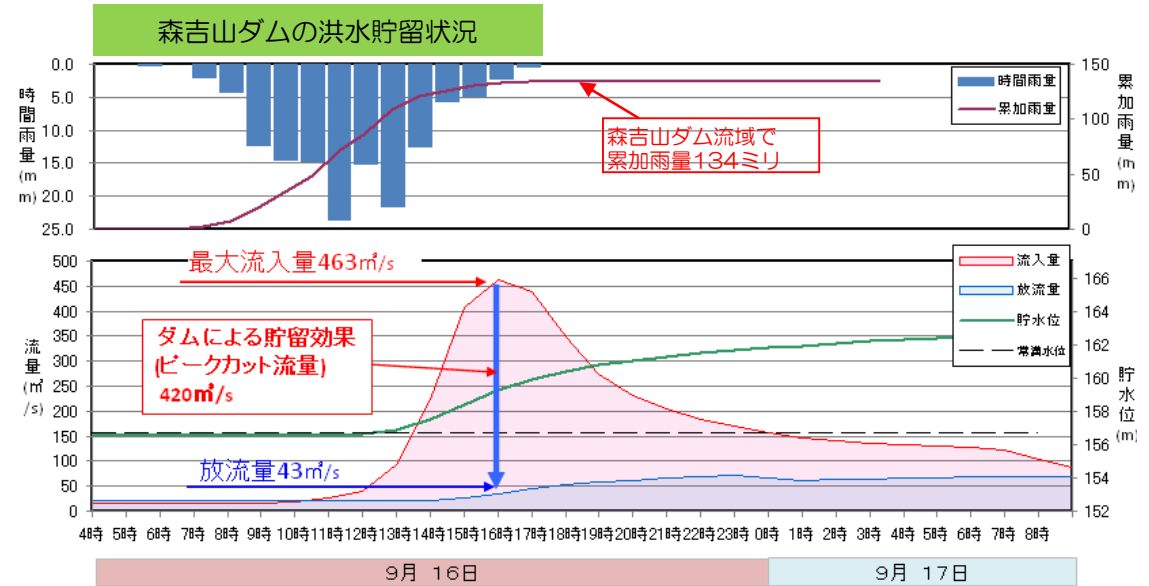
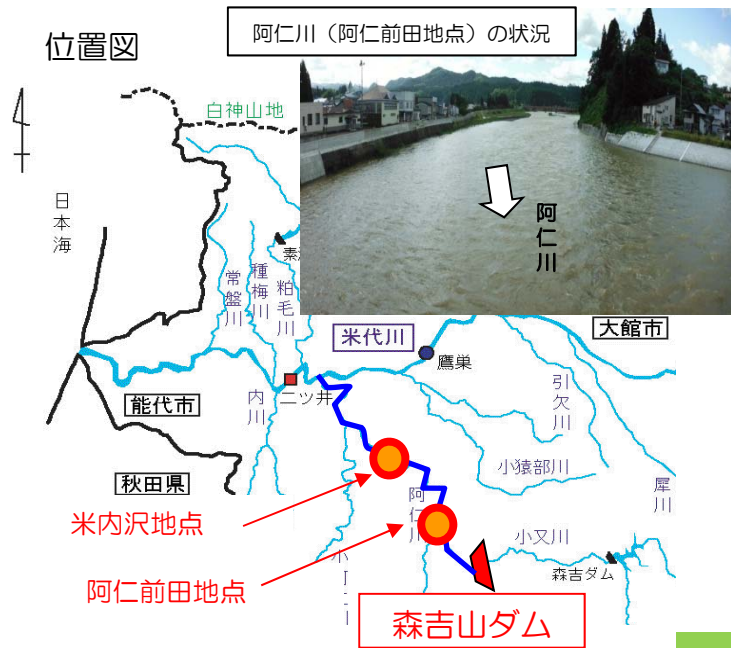


樹木伐採後

平成25年9月出水（台風18号）における森吉山ダムの整備効果について

森吉山ダムによって、北秋田市阿仁前田地点で約83cm水位低減させ、避難判断水位超過を回避！

- 森吉山ダムでは最大463m³/s(9月16日16:20)の水が流れ込み、平成24年度の管理開始以降で最大の洪水となりました。
- 今回の洪水期間中において、森吉山ダムでは約8,400千m³の水をダムに貯め込み、阿仁川の北秋田市阿仁前田地点では約83cm、米内沢地点では約50cmの水位低減効果が図られ、阿仁前田地点では避難判断水位（T.P=60.36m）超過を抑えることができたものと推定されます。



ダム下流地点における水位低減効果

